

# 平成26年度 保育所の自己評価

社会福祉法人川上福祉会 くすの子保育園

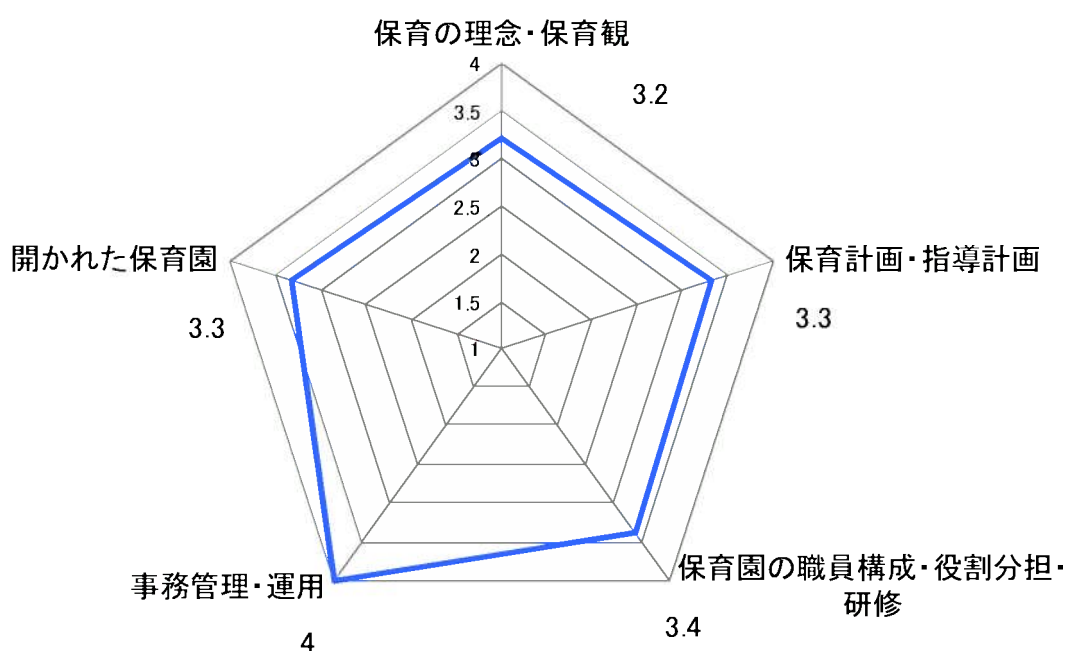
「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」と保育指針に明記されています。当法人では、このことに基づいて検討し、保育園（組織）としての自己評価について、評価の項目、視点、方法および評価結果の示し方等について標準的な様式として作成いたしました。

## 〈評価について〉

評価をするにあたっては、以下のような基準で評価を行っています。

- A (4) — たいへんよい
- B (3) — よい
- C (2) — 一部検討を要する
- D (1) — 改善を要する

## 保育所の自己評価



◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策		
		A	B	C	D			
保育の理念・保育観	保育目標について	(1)保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			・実態を踏まえきれていない部分もあるので現状に合わせた目標を設定していきたい。	
		(2)目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				・少人数保育である為、本園との交流や地域との交流を図っている。	
		(3)目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			・意見がでた際は、職員会議にて、検討するようになっている。	
		(4)目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			・十分に活かしかれていない部分があるので、改善を図りたい。	
		(5)目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			・毎年、園内研修において、検討している。非常勤職員も含めて、全職員での共通理解を図りたい。	
保育計画・指導計画	保育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			・毎年、子どもの様子に応じて指導計画を作成している。	
		(2)保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			・保育指針をもとに、個々の様子に応じた関わりをもてるよう努めている。	
		(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			・環境構成・教材研究など、追究したり、考えたりする時間を作る必要がある。	
		(4)素材・用具を適切に活用しているか。			○		・素材や用具が偏ってしまうところがあるので、様々な経験が出来るようにしたい。	
		(5)評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			・毎回、振り返りを行い、保育の改善には、努めているが、十分に出来ていない。	
	日時程	(1)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	○				・年齢別に設けているが、子どもの様子に応じて、個別的援助を柔軟に行っている。	
		行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か。	○				・分園で、限られた職員ではあるが、出来る限り、季節の行事や様々な経験が出来るように計画している。
			(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				・ねらいは、立てているが、全職員がねらいを念頭において実施出来ているかは、疑問である。
			(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			・月齢に合わせて活動内容を考えているが、より充実した活動を考えたい。
			(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				・会議で話し合い、内容の検討、振り返りを行っている。
(5)保護者の願いや意見を取り入れているか。			○			・意見箱の設置やグループ懇談会にて、保護者からの意見を聞く機会を作っている。改善が必要な部分は、改善できるように努めている。		

◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
保育園の職員構成・役割分担・研修	分掌・体制	(1)能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			・時期によっては、難しいこともある。全体的に見直しを行い、改善していきたい。
		(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			・職員の業務内容も異なり、難しい部分もあるが、出来る限り、個人の負担が大きくなるように努めている。
		(3)職員の配置は適材・適所か。		○			・各配置場所で、改善が必要な部分があるので、対策を考えていきたい。
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			・個人の負担が大きくなるように、業務内容を一覽にして割り当てているが、分園で限られた人数で運営しているため、難しい部分もある。
	運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			・限られた時間なので、より効率的に進めていきたい。
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			・全職員が積極的に、意見を言いやすい雰囲気を作りたい。
		(3)打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	○				・目的別に応じた会議を設定している。
	年齢別・クラス運営	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○			・保育目標に基づいて、年齢別の目標を設定している。また、ケース会議や総括、幼児観察等も活かしてより内容を充実させていきたい。
		(2)年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			・子どもたちの姿を見ていることでイメージしやすく実態を理解した上で目標設定ができています。
		(3)年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			・年間計画をもとに、1ヶ月・1日のねらいを設定している。また、保護者にもお便りにて月のねらいを伝えている。全職員が共通して取り組めるようにしたい。
		(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			・現在、異年齢保育を行っており、年齢別での活動計画も立てている。全年齢を2グループ構成の保育室で活動を行っているが、グループを越えた活動や異年齢間士の活動をより充実させたい。
		(5)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○			・一つの目標や目的を掲げて保育を行っているとは、言い難い。それぞれが、よりねらいを大切に、保育を進めてほしい。また、それを伝える側のスキルアップも必要である。
		(6)評価、資料（諸記録）を集積しているか。	○				・各資料ごとに集積できている。

保健・安全指導	(1)年齢別・クラス運営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○			・保健・安全関係の確認事項を会議にて周知、各クラスに掲示している。また、保護者にも伝えている。	
	(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○			・毎月避難訓練を実施し、様々な状況を想定して行っている。また、交通安全指導は講師を招いて、毎年行っている。	
	(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○			・保健だよりにて、様々な話題をお伝えしている。	
	(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○			・緊急時における保護者への連絡手段の改善を図る必要がある。また、地域への働きかけも必要である。	
施設内研究・研修	(1)研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	○			・年度初めに園内研修の中で検討して立てている。	
	(2)所内研修の計画・運営は適切か。	○			・職員の見解を取り入れた内容の研修を行えている。	
	(3)研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○			・非常勤の職員まで、周知出来ていない部分がある。改善が必要である。	
	(4)研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	○			・専門療法士による研修会を定期的に行っているが、より理解を高めたい。	
施設外研究・研修	(1)各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか。	○			・園全体としては体制を整えている。	
	(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○			・学んだことを園内研修で取り入れ、研修報告書等で還元している。	
事務管理・運用	情報	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報をご適正に取り扱っているか。	○			
		(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○			
		(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○			
	施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			・毎月、チェックリストをもとに確認を行っている。
		(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○			
		(3)不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○			・毎年、防犯訓練を行っている。
		(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○			・外掲示板や園内廊下に掲示場所を設けている。
	出納経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○			・内部経理監査も行っている。

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれた保育園	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	○				・地域にある高齢者施設、本園との交流も計画し深めている。
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○				・世代間交流、本園との交流では、得るものが大きく、内容も充実していた。
		(3)指導者どおしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め援助について共通理解を図っているか。	○				・事前に打ち合わせや環境確認等を行っているため、スムーズに行えている。
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			・小学校へ問い合わせするなど、こちらからも働きかけていく。
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			・子どもの様子や交流先に合わせて、充実した内容になるよう努めている。
	家庭その他の連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	○				・要望があれば、出来る限り応えられるようにしている。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は、適切か。	○				・行事等を中心に参加して頂いている。
		(3)乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				・高齢者との交流や米作りにも種まきから稲刈りまで取り組んでいる。
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○				・地域にある高齢者の敬老会等に参加したり、園行事に招いたりしている。
	子育て支援の推進	(1)地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。			○		・分園で限られた環境のため、現時点では、難しい。
(2)地域に住む子供どおし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。		○				・子育て講座や行事参加を募っている。	
(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。				○		・全体的な学習会は、設けていないが、グループ懇談会の中で話題を設けたり、おたよりに掲載したりしている。より内容の充実を図りたい。	
(4)職員による育児に係わる「子育て相談」は充実しているか。				○		・個人面談や紙面等を通して保護者の相談を受けている。しかし、保育士側のスキルアップが必要である。	
(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り保護者にとって必要な情報を提供しているか		○				・各種関係機関のパンフレット設置や病児・病後児保育等のお知らせ等を行っている。	
情報発信	(1)園だより・クラスだより・HP等で施設の情報を発信しているか。	○				・クラス便りは、個人写真の掲載があり、発信を控えているが、施設の情報は、発信出来ている。	
	(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			・HPや地域にある店舗にて行事の案内等をしている。小学校との連携の充実を図りたい。	

外部 評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			<input type="radio"/>	・視覚障では利用していない。
	(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	<input type="radio"/>			・懇談会や町内会の会合に参加し、意見が出た場合には職員会議で検討し対応・改善策を図っている。